

大麻比古神社のステータス

○調べた目的

- ・自分たちは、毎年初詣で行っていて、なぜこんなにも人が詣でてくるのだろうと疑問に思った。
- ・また近くに霊山寺があって、その関係が気になった。
- ・神社のまつられてる神様が気になったから。

○調べた方法

みんなで自転車に乗って大麻比古神社に行きました。

神主の仁宇さんに話を伺いました。

中学校に帰ってからは、みんなで大麻比古神社についてパソコンなどを使って調べました。

それを最終的にパソコンでまとめました。

○大麻比古神社がいつできたか

大麻比古神社がいつできたのかは詳しく記録がない。 900年代らしい。 1100年以上の歴史がある。大麻比古神社の名前は、『延喜式』に歴史上初めて登場する。

※ 延喜式 … 平安時代中期に編纂された法典である。

○大麻比古神社の歴史

戦国時代は戦国大名が戦勝祈願などの目的で神社を祭っていた。

↓

明治時代になると国がほとんどをかんかつし始めた。

戦争（太平洋戦争）前は神社のかんかつであり、「大麻さん」は国のものだった。だから、この建物をどうするか何を建てるのかは国が全部決めていた。（神社は国の管轄だったが、寺は国の管轄ではなかった）

しかし、1945年、日本とアメリカが戦う太平洋戦争が起こり、日本は負けた。このあたりから、**国が神社をかんかつする時代は終わった！**

○大麻比古神社の御利益とは

猿田彦大神 → 道開きの神様 → **交通安全**

→ 道案内の神様

大麻比古大神 → 徳島県の守り神 → **家内安全** **商売繁盛**

◎古い風習

家を建てる時 → 「大麻はんに行き、**御祈禱**をしてもらいお砂を受けてきなさい」と言われていた。

御祈禱について

大麻比古神社は安全・交通安全・方除のご加護をお授けくださる神様として多くの人々から信仰されている。

○現在人気のお守りはどんな物があるの？



昭和より前 →

お札だった

昭和

昭和からお守りがつくられた

・種類 全部で20種類

・人気のお守り 交通安全のお守り・・・御払いの時に授与する



授与を希望しない人は小さいお守りを買うことが多いそうである

・はだまもり

・安産のお守り・・・ポケットの中に実があり顔が

書かれています。



安産のお守り



≪ どうして交通安全のお守りが人気なの？ ≫

交通安全のお守りの一つ、「道中安全守」というものがある

道中安全守・・・道中安全を祈願祭するためのお守り

★霊山寺の近くにあるため、お遍路さんが道中の安全を祈願するために訪れる。道中の安全を願ってお守りを買う人もいる。

霊山寺はかつて大麻比古神社の神宮寺であった。

神宮寺・・・神社に附属して建てられた仏教寺院や仏堂。

「四国邊路道指南」一番・霊山寺の段落には、「三町北に大麻彦大明神がある。伴社・中宮社・西宮を備えている。必ず参詣するように。」との記述がある。

お遍路さんにとってのパワースポットになる。

ほかに人気のお守りはどんな物があるの？

- ・夢守
- ・心願守
- ・仕事守
- ・試験合格守
- ・諸願成就のフクロウ守り
- ・良縁の縁結びのお守り
- ・その他 (交通安全のお守り、安産のお守り 等)



○大麻比古神社と麻との関係

- ・麻は織物にして使われていた。 産業
- ・昔は、立派な着物があまりなかったそうだ。
- ・その時に使ったのが麻だった。
- ・麻とは植物のことだ。 … 麻を栽培して産業を起こした。
- ・大麻比古大神の本当の名前は雨太玉であるそうだ。

読み方は、あめのふとたまのみことと読む。

- ・産業を始めたのが天太玉命(大麻比古大神)の子孫であった。 → 忌部(いんべ)氏 or 斎部氏(いんべし)
- ・麻を育てて産業をおこして徳島の産業を豊かにしていった。

これらのことから大麻比古大神という名前がでてきた。

○だれが大麻比古神社を建てたのだろうか？

- ・実はお寺の人も分かっていない

寄付されたお金で国司 (県知事) が建てた。

大麻比古神社はみんなのもので願いを込めて造られた。そして地域の人に愛されていた。

また、戦国武将、などの有力者が建物を寄進し建立したのではないかと考えられる。

〇楠について

この写真のような大麻比古神社には樹齢1000年以上の神木というものがある。



大楠

「[鳴門市天然記念物](#)」に指定されている！

神霊宿る御神木として大注連縄が廻らされ、社殿正面に生い茂る樹齢千年の楠。平成7年6月に鳴門市の天然記念物に指定されている。樹高22メートル、胸高周囲8.3メートル。



〇どのようなお祭りがおこなわれているか

- ・月初め 1日…月なみ祭 毎月している。
月の安全をおいのりするお祭り
- ・365日×2 朝と夕方 お祭りしている
朝みけ祭 夕みけ祭
- ・1年間で1000近くのお祭りをしている
- ・11月1日霊祭 大麻宮1番大切なお祭り



今は大鳥居のあたりまでみこしででていく

こっから神様がみこしで降りていく

・行事は3つしている



○大麻比古神社の年間来客人数

1年間で36万人が大麻比古神社に来ている。(徳島の人口が約70万人)

その中で18万人が初詣できている。→年間の半数にあたる。

前までは、車の御祈禱があったけれど最近はコロナで車の台数が減って少なくなってきている。

1200台くらいとめられる駐車場がある。

七五三は(御祈とう)2700件の依頼がある。

正月は多すぎてカウント困難 (；^_ ^A

○阿波一宮とは何なのか

中央の朝廷が阿波に赴任してきた時に一番先に挨拶をする場である。

また、国の災いごとがおこったとき、それを鎮めるために一番にお祈りする

ところでもある。☆

!! 阿波の国 一番の神社 !!



日本全国に100近くの一宮が存在している。👉とある。こ

○大麻比古神社に祭られている神様

【神様の名前】

大麻比古神社には、**大麻比古**大神(おおかみ)様=天(あめの)太(ふと)玉(だまの)命(みこと)と、猿田彦(さるたひこ)大神(おおかみ)様の二柱(ふたはしら)の神様がまつられています。

【大麻比古大神様】

「安産、交通安全、方除、厄除の神様」

天上から日本の国におりてきました。

徳島の地域の産業や、いろんな職業を守るためにまつられた神様です。

【猿田彦大神様】

「道案内・道開きの神様」

元々天上にいた大麻比古大神様が日本の国に降りてくるときに、猿田彦大神様が道案内をしたというエピソードがあります。



○心願の鏡池

本殿の裏手にあるこちらの池は、第1次世界大戦時に板東俘虜収容所のドイツ兵たちが掘ったものだそうです。



当時のドイツ兵と地元の人たちとの国境を越えた友情は、現在も姉妹都市交流として続いています。ご覧のように水面が美しいターコイズブルーに輝くことから、写真映えポイントとして最近人気を集めています。



池の真ん中にある岩にはたくさんのお賽銭が投げ込まれていました！岩の上に乗ると願い事が叶うかも…？（笑）

考察 私達は、このような調べて大麻比古神社は霊山寺と多く関わってました。

大麻比古神社は、「才能の扉が開かれる」、「願いが叶う」といわれるパワースポットがあることから多くの人々が訪れるようになりました。大麻比古神社にまつられている神様は「大麻比古大神様」と「猿田彦大神様」の二つであることが分かりました。

〇まとめ

私達は長く続いている大麻比古神社をこれからも大切にしていきたいと思いました。みなさんもこれから大麻比古神社を大切にいきましょう！！